

月刊 しでかし



10
2000

今月のBirthday ~ 伝説の回答 ~

10月8日にレッスンルーム SKi「LR」にて寄合歩ちゃんのバースデーパーティ「寄合歩・17歳・青春・1頁」が行われました。まずは入場時に握手会、お祝いの言葉やプレゼントが交わされます。宇都宮から駆け込んだ方もかなりいたらしい。歩ちゃんから労いの言葉を頂いていたようでした。最初は今年のバースデーを迎えてから今日までの出来事を語ります。自分では17歳は16歳とあまり変わらないそうですが、歩ちゃんのお母さんは18歳になったと思ってたらしい。美香ちゃんらにも18歳になったと思われていたらしく、冒頭のあいさつでは「17歳！」を特に強調してました。誕生日当日は、友達にプレゼントをもらったり、「おめでとう」といって抱きしめられたり、昼にケーキを買ってきてお祝してもらったようだ。なかなか学校でも人気者(にやり)らしいですな。今日の服は恵里子に選んでもらうはずだったんだけど、一週間勘違いしてたらしくスケジュール合わなくて一緒に買いに行けなかったらしい。ちなみにえりりんは「大人っぽいんだから鎖骨の見えるワンピース！」と決めてたらしい。残念がるお客さん多数(笑)。15歳を振り返ると、静かなおとなしい子だったらしい。それって猫かぶってるっていうやつかな(笑)。16歳はテキトーに生きてたらしい。友達に長女だと言っても信じてもらえなかったらしい。17歳は宿題を自力で半分はやるとのこと。計画ではまず5割・7割・9割と増やしていき大学三年で100%にする予定だそうだ。でも大学って夏休みの宿題ってあるっけ？ いままでのバースデーで一番思い出に残ったのは、15歳の原宿でのバースデー。80名ぐらい来てすごい緊張したそうだ。恒例の質問がいっぱい来るやつは答えるのが楽しいそうだ。毎年バースディパーティは母妹も楽しみにしているらしい(謎)。17年間の3大事件は、SKiに入った、ピアノをやめた、知られざる芸能活動。幼少の頃、生協のポスターにでてたらしい。ちなみに報酬はジュース(笑)。今の寄合ちゃんじゃそんなものではごまかされませんよね。20歳までにしてみたいことは「海外に行きたい」と「(自動車)免許をとりたい」。将来の夢は4大にふつ~に行きオクラホマあたりに住み、じゃがいもを育ててペットにアヒルと秋田犬を飼って玄関に揺りかご(ロッキングチェアのこと)を置いて静かに暮らすという具体的なもの。ちなみにエリコに教えると静寂を奪われそうなので秘密裏にしなきゃね(笑)。クイズコーナーでは「私は実は27歳である」という×クイズが出され、手を挙げる人多数(爆)。きっとチェックしてるぞ。質問コーナーでは、良い質問した人はポラ写真が貰え、悪い質問した人はSKi基金にカンパしなければいけないルール。審査員は当然歩ちゃん、手強い(笑)。いきなり「本当は何歳なんですか？」の問いにすかさず差し出される募金箱。その後質問が途絶えます(笑)。「どうしてそんなにかわいいんですか？」の問いには間髪入れずにポラが進呈。「**だってかわいいんだもん、しょうがないじゃない**」との素晴らしい回答(笑)。言った後少し照れる歩ちゃんですが、いままで誰も答えられなかった伝説の質問に答えを出すとはさすが歩ちゃん。来年もまた楽しいバースディパーティになるといいですね。



今月のBirthday

10月22日にLRにて「MAKIKO 16th Birthday Party」が行われました。16歳って一番楽しい時期であって、無理をし過ぎる年だと思つと波平ちゃん。名言ですね。バイクの免許は取りたいが死んでしまうから取らないそう。「これまで16年間の3大事件」は、生まれたこと、SKiに入ったこと、そして無事に16歳を迎えられたことだそう。何も考えてなかったな(笑)。誕生日は24日なのでまだこれから。当日は友達がケーキ等作ってくれてパーティーをやる予定とのことだ。でも、友達から24日は金欠のためにプレゼントは愛をあげると言われているそう。「16歳は何をしたいか」というのに(高校を)だぶらないように、と消極的な発言。前日に中間テストが終わったが、朝9時半に起きるといふ寝坊をしたため結局行かず、国語のテストを受けなかったそう。しかも、次の日のテストの教科の教科書を学校に置きっぱなしで勉強できなかったとか。大丈夫かな? 朝遅くなる原因は坂らしい。波平ちゃんは自転車通学していて、行きはずっと上り坂、帰りはずっと下り坂だそう。友達から、あんた来るのは遅いけど帰るのが早いねと言われるとのこと(苦笑)。友達には、自己中と自過剰(自意識過剰)が多いそう。自分は違うと言い張るも、深みにはまっていく波平ちゃん(笑)。文化祭で縁日をやったが自分は他の学校へ行ってたとか、準備の時には寝ていたとのこと、自己中の波平ちゃんが暴露される(笑)。友達の中でも私が一番偉いと言いだし、自過剰の波平ちゃんも暴露(笑)。その後何かと言えば「自己中」「自過剰」と突っ込まれることとなりました。将来の夢は、オーストラリアに遊園地とプールを作って、コアラやカンガルーのむつごろう王国のようなものを作ることとのこと。この時に即興で決まりました(笑)。この遊園地を作るのはファンのみなさんだそうで、作ってくれれば一緒に遊びたいとのこと。誰かファンの人、遊園地を出しちゃいましょう(笑)。ここで歌「16才」。間奏のセリフでは、「気を引き締めてみなさんのように立派な大人になりたいので、みなさんも立派な大人になって下さいね」とのことであった。うーむ。次に一緒にラッパーバッカーを歌うコーナー。そしてクイズコーナー、質問コーナーへ。当日起きたのは11時47分。通学用の自転車は、変速ギアは付いていないので大変らしい。学校でのあだ名はパピコ姫らしい。姫でありながら、「パピコ姫～、パピコ買ってきてくれ」と言われるらしい(笑)。夏休みの宿題は「まだ出してません」だって。手伝った宿題はどうしたんだ～。本当に進級大丈夫かなあ。最後に2曲「悲しむのはシャクだから」「うたかたの夢」を歌い終了となりました。



今月のしでかし

SKi が立ち上げたアイドルジャパンレコードの5周年を記念して、10月にスペシャル・キャンペーンが行われました。1日はDISK INN 新生堂吉祥寺店。このキャンペーンの司会担当のえりりん、張り切っています。毎回楽しい発言が飛び出し、期待に応えて(?) いろいろやらかしてくれました(笑)。まずは IJR ファンにはすっかりお馴染みになった CHARMY さん。詞が浮かぶと携帯のボイス録音するなんて話を聞かせてくれました。成子真希さんのシングルは 11/1 発売予定ですが、このキャンペーンに合わせて(?) 急遽先行発売。しかし会場での告知は 11/1 発売のまま。MC の最中に CD を振ると思いきり悲鳴を上げて照れる成子さん(笑)。成子真希さんは栃木市出身、昭和 55 年 6 月 18 日生まれで今年豹柄が流行ると信じてる現在 20 歳。橋本プロデュ - サ - より 1 歳年下だ。IJR 期待の逸品です。(えりりん談) 続いて IJR のプロデューサーでもある加納秀人さん。渋く一人ロックを披露。SKi にも曲を提供してくれている加納さんに「どのようなときに曲作るの?」との質問に「頼まれたとき」と答え、爆笑を誘っていました。SKi では、橋本・三浦・寄合・秋山・石崎の 5 人が参加。麻里ちゃんはイベント初登場ですね。今後のリリース予定で、美香ちゃんのソロアルバムを告知。いやに「予定」を強調する司会のえりりん苦笑する美香ちゃん。そういえばえりりんも発売が伸びていますからね。最後にリミュー - ルさん。エレガントな音大生と OG 約 30 人の音楽集団だ。リユミエールは仏語で光。クラシックという敷居があって、普通コンテストなどに受からないとコンサートや CD を出せないが、インディーズみたいな若手が集まって活動できたらとのコンセプトで結成されたグループ。今回はピアノのメンバーばかりが来ていたおかげで生演奏は吉祥寺のみ。残念ながら握手会もいまいち盛り上がり欠けました。フルトやヴァイオリンのメンバー連れてくれば演奏できたかも? 8日はタワーレコード宇都宮店。成子さんの地元とあって、友人知人が大挙押し掛け賑やかでした。成子さんのコ - ナ - だけ撮禁が解除されるという粋な計らいもありました。司会のえりりん、加納秀人さんと紹介して爆笑していました。SKi は橋本・三浦・秋山の 3 人でした。14日は新生堂ランドマーク店。まずは「あなたも私も心がドキュン」の CHARMY さん。ランドマークには洋服アパレルの研修で来たことがあるらしい。「クラシックの音色にあなたもクラクラ」のリユミエールさんは小林さんと池上さんが出演。ここではエレガントになるえりりん。「ございます」調になって何か変でした。「渋いサングラスが大人の魅力」の加納さん。実は横浜育ちだそう。最後に SKi。橋本・三浦・秋山・西堀・石澤の 5 人。初めて参加する彩乃ちゃん、緊張して昨日は学校どころじゃなかったらしい。.....(^.^;)。なお、キャッチフレーズはえりりんがつけていました。15日は秋葉原の石丸電気ソフトワン。ここは閉鎖された空間で、爆発したのは成子さん。えりりん掛け合い漫才になっていました。2週間でだいぶイメージが変わりましたね(苦笑)。これからの野望は「自分を作らないでありのままにいられたら」とのこと。まさに「No Make」ですね。今後に期待です(何に?)。



今月のコンサート

9月23日にこまばエミナースにて100曲ライブが行われました。ギネスに挑戦とすることで、客席後方にカウントダウンのスコアが用意されます(笑)。プロローグ～序曲～でスタート、なんとステージ場にもスコアが。こちらはカウントアップでレッスン生が捲っていきます。出てくる度にお客さんの視線はレッスン生に(苦笑)。まあ、これがSKiのファンさんだからしょうがないですね。100曲もあるのでいつも聞けない曲も聴けるというお得感があります。まずは初期のレパートリーから。『ここにおいでよ』ではえりりんと舞香ちゃんが美雪ちゃんのぬいぐるみを取り上げます。でも泣かない美雪ちゃん、強い！ 洋楽コーナーは美香ちゃんが弾き語り。ギターチューニングを楽屋でしていたところ、えりりんにじゃまされたらしい。「面白い曲集」で『バスツアー』などに混ざって『お散歩』。美雪ちゃんが二代目GURIちゃんに襲名したようだ。リクエストコーナーは9曲を紹介。『15秒の愛』は短くても一曲です。こういう企画にはもってこいですね(笑)。

24日は「SKiの生誕8年祭」が行われました。いつもと違っておごそかな雰囲気です。やっぱり儀式ですからね。まずはこの1年回の活動を紹介します。クリスマスの福祉施設にサンタの衣装で登場したり、ベトナムレポート展を開催したりと、福祉や社会活動に活躍したいです。続いて祝電の紹介を真子ちゃんが読みます。もうこれだけで客席はハラハラ。文香ちゃんも心配そうにのぞき込んでいました(笑)。ジャストシステムさんとはどういう関係なんだろう。ちなみに当誌もお世話になっています。続いてリーダーの挨拶。「オーディションを受けてからはや5年、PANTAさんから歌う楽しさを、加納さんから歌の難しさを学んだ。石の上にも3年、真剣に取り込むことが大切。」と語ってくれました。これからはキャンペーンや社会活動などで、世界中のアーティストとお仕事出来るようレベルアップに励み頑張ります。私はくじけません」と力強い抱負を語ってくれました。リーダー継承式ですが、前記の抱負を持って引き続き3期目に突入する事が発表されました。その後、ゲストに吉成さんが登場。事前に新聞等で告知されていましたね。懐かしいお客さんも顔を見せていました。続くコーナーが「新人さんいらっしゃい」とは素晴らしい。新人さんに流れたお客さんは居たのでしょうか。新曲はパラパラを取り入れた「Dancing with Devil」。お立ち台が用意されて文香ちゃんが格好いい。午前中お休みだったえりりんに変わって、麻里ちゃんがセンターに。かなり上手です。一方お立ち台で踊っていた舞香ちゃん、バランスを崩して台から落下(笑)。おもわず口を押さえる舞香ちゃんに客席の視線が釘付け。お客さんも壊れていました。夜の部は「渚に消えた初恋コンサート」。もう9月の定番ですね。でも今年は台風は来なかったようだ。注目は新人さんになんでも質問コーナー。好きな男性のタイプは小田「やさしく守ってくれる人」、星川「背が高いスポーツマン、守ってくれそうな人」、浅見「やさしくておもしろい人」。斉木「やさしくておもしろくて格好良い人」、高橋「格好良くやさしく背が高い人」、森野「やさしくておもしろいひ人、約束を守る人」とのこと。お客さん、頑張ってくださいね(笑)。

人生 坂道 上り坂



相うん、
相当ん、
参っ参っ参っ参っ。

参こバ
つのパ
て娘！
るの？

かかってこいし。
ボス電
2
2万人に当たる！
NTT DoCoMo P3315

